

会議録様式

審議会名	令和6年度第2回杉戸町子どもにやさしい街づくり推進会議
開催日時	令和6年9月6日(金) 午前10:00~午前11:00
開催場所	杉戸町役場 第二庁舎2階第1・2会議室
会議の議題	杉戸町こども計画策定について
公開・非公開の別	公開・非公開 (公開の場合傍聴者数 0人)
出席委員氏名	螺良委員、大越委員、鈴木委員、古澤委員、須藤委員、水野委員、 富澤委員、岡崎委員、長岡委員、神山委員、牧野委員、沼田委員、 渡邊委員、中原委員、中村委員、富塚委員、宮田委員
欠席委員氏名	藤倉委員、齋藤委員、高橋委員
審議の概要	杉戸町こども計画の策定について説明。 主な意見や質疑は以下の通り。
質疑応答	<p>○杉戸町の子ども施策の特性をどのように盛り込んで計画策定を行うのか。(中原委員) ⇒育児と就労の両立を目的に安心してこどもを預けられる環境の整備、農業高校での保育園・幼稚園児童との異年齢交流事業の実施、4月に開設された子育て支援センター、こども家庭センターにおける手厚い相談体制の構築を杉戸町の特徴と考え、計画の中でもアピールしたい。</p> <p>○こどもの貧困対策、若者支援として具体的に何が追加されるのか。新規追加事業は相談しやすい、利用しやすいものとしてほしい。(中原委員) ⇒こどもの貧困対策として就学支援、こどもの学習支援等を検討。若者支援は就労、自立に向けた取組、自殺対策に関連した普及啓発、若者の出会いの機会提供等を検討している。</p> <p>○杉戸町の幼稚園利用者の半数が私立に通っている状況を踏まえ、町立の幼稚園で保育園の機能を担い、こどもを預かるような考えはないか。(水野委員) ⇒町立幼稚園の具体的な方針は決まっていないが待機児童が発生している状況を鑑みて、長時間こどもを預けたいという保護者の方には預かり保育の活用や一時預かり等を案内している。</p> <p>○現在の預かり保育利用者数と預かり可能な時間を教えてほしい。(水野委員) ⇒町立の預かり保育は14時から17時で、長期休業期間は9時から17時までとしている。年間の延べ人数は常用利用者が5,449人、一時的な利用が409人となっている。</p> <p>○少子化の進展を踏まえ、既存施設やサービスをもとに取組を強化することが重要。預かり保育においてはフルタイム労働者が利用するには現在の時間では厳しいため、幼稚園の私立と町立の垣根をなくし、保護者が利用しやすい制度設計としていくことが必要と考えている。(水野委員) ⇒貴重なご意見として今後活用させていただく。</p>

○前回調査時より放課後に習い事をしている子どもが減り、子育て支援センター、児童館の利用が増えている。保護者の経済的負担を軽減させるために子育て支援センターやココティすぎと等の施設を安心・安全に利用できるようにしてほしい。(富塚委員)

⇒アンケート調査結果から経済的支援のニーズが増えていることは理解しているため、考慮しながら事業を検討したい。

○ヤングケアラーの世間的な認知は広まっているものの実態が不透明である。該当者を把握することは難しく、今後どのように支援していくのか気になっている。(岡崎委員)

ヤングケアラーは幼少期からそれが当たり前となってしまう自分自身で気づけないことが多いため、気づいて相談してもらえそうな仕掛けづくりが必要と感じる。(螺良会長)

⇒ヤングケアラー支援としては啓発活動を中心しつつ、こども家庭センターの相談体制の充実を図りながら、学校と協力してこどもの見守りや周知についても考えていきたい。

○転入者が多いもののこどもの数は減っていることを踏まえ、今後は町内に子育て世帯を呼び込むために外部に杉戸町の取組をアピールすることが必要だと感じる。(水野委員)

⇒外へのアピールの重要性は感じているため、今後も検討していきたい。

事務連絡 第3回会議は11/12(火)に開催予定